



上海事務所

## 『中国社会』 デジタル化最新事情 ②

### ～中国の無人店舗型サービスについて～

#### ◇ 「非対面型」のビジネスモデルとして急成長

- ・ 現在、中国では、コンビニやカラオケボックス、カフェなどで様々な無人店舗型サービス（以下、無人サービス）が存在し、各地の駅構内や商業施設等に出店しています。
- ・ 中国で初めて登場した無人サービスでは、2016年8月に広東省中山市に開店した無人コンビニ「Bingobox」が有名です。同店は、2017年に上海市に進出し、2018年には北京、広州、大連など全国40都市に400店舗まで拡大しました。
- ・ 無人コンビニの登場により注目を集めた無人サービスは、今では様々な業種が参入し、提供されるサービスも多様化しています。さらに、新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年以降は、非対面型のビジネスモデルの一つとして一層注目を集めています。
- ・ 中国の市場調査会社「智研諮詢（ズーイェンズーシェン）」の発表によると、2020年の中国の無人サービスを提供する企業は、コロナ禍での無人サービスの需要の増加を受け、前年比+4,935社の8,932社となり、2016年と比較すると約5倍の規模まで増加しています。



無人コンビニ「Bingobox」  
専用のスマホアプリにより入退店時の  
ドアの解錠や商品購入・決済を行う。

#### ◇ 今後の展望

- ・ 中国で無人サービスが発展する背景の一つに、少子高齢化による人手不足の問題が挙げられます。中国の無人サービスは、中国国内のデジタル化を促進させるだけではなく、社会問題の解決にも繋がる新たなビジネスモデルであり、今後の発展が期待されています。
- ・ 同様に少子高齢化の問題を抱える日本においても、セルフレジなどの導入による省人化が進んでいることから、今後は様々な無人サービスが登場するのではないのでしょうか。

#### 〈トピックス〉当事務所所員が体験したスマート皮膚測定ステーション「AI肌」を紹介！

- ・ この無人サービスは、上海市内の駅構内にあり、ブース内のモニターに性別、年齢などの事項を入力後、測定機で肌質のタイプや状態を判定します。
- ・ 肌の乾燥度合いやシミ・シワなど、10項目の問題を検知し、診断結果に応じた改善指導やおすすめ商品（市販のスキンケア用品）の提案などを専用のスマホアプリ上で確認することができます。



「AI肌」の店舗外観は  
ネオンライトで輝いており、  
人が行き交う駅構内で  
ひととき存在感を放  
っています。



室内にある照射口に顔を挿入し、  
約30秒で診断が完了します。  
結果はWechat（SNS）を介して  
レポート形式で送られます。  
1回あたり約170円。

2021年8月19日作成

西日本シティ銀行上海駐在員事務所